

外縁付鈕1式 4区袈裟襷文

「外縁付鈕1式」 4区袈裟襷文 6鐸 グループ化なし抜粋

外縁付鈕1式の特徴

※舞の型持孔が1つ

※身の型持孔が4区袈裟襷文ならばほぼ第2横帯に近く

簡単に言うならば、身の中心に近いということです。

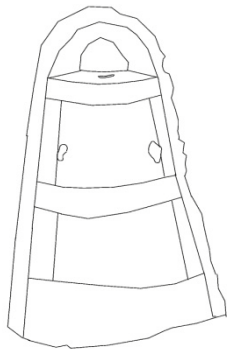
※断面菱形の半環状の部分、すなわち「菱環」の外側に、

吊り下げるためには不必要な装飾部分として縁（外縁）をつけた「外縁（付菱環）鈕」

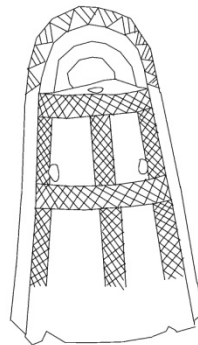
- 兵庫県 伊丹市大阪国際空港（中村）
- 奈良県 奈良市秋篠町 秋篠4号
- 奈良県 奈良市秋篠町 秋篠3号
- 島根県 雲南市加茂町岩倉（加茂岩倉遺跡）25号
- 兵庫県 南あわじ市市小井 松帆6号
- 兵庫県 南あわじ市市小井 松帆7号

奈良県 奈良市秋篠町 秋篠3号が一对耳の飾耳がありそうなのが特異
南あわじ市市小井 松帆7号は、伊丹市大阪国際空港（中村）と同範の可能性あり

☆兵庫県伊丹市大阪国際空港（中村） 中村銅鐸 辰馬415鐸 辰馬考古資料館蔵
外縁付鈕1式 4区袈裟襷文 高さ 20.7cm

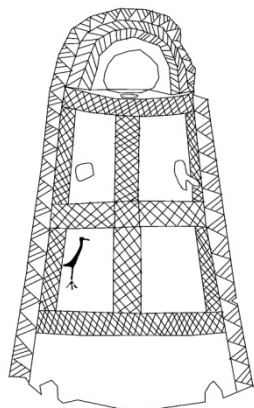


参考
松帆7号
→



鈕や身の状態がボロボロのため
文様など、さっぱりわかりません

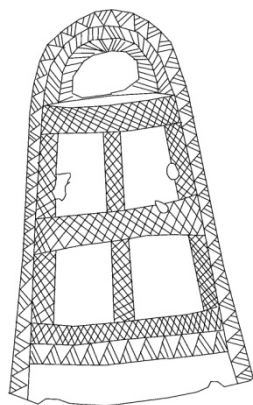
☆奈良県奈良市秋篠町 秋篠4号 関家旧蔵・東京国立博物館蔵 東博37019
外縁付鈕1式 4区袈裟禪文 高さ 21.7cm



観察想像スケッチ

鈕部分 外から鋸歯文・綾杉文
緒部分 鈕より続く鋸歯文
身の左下区にトリの凸画あり
正確にはわかりませんが、
多分第二横帯を中央縦帯が切っている
下辺横帯部が見えない

☆島根県雲南市加茂町岩倉（加茂岩倉遺跡）25号
文化庁・島根県立古代出雲歴史博物館蔵
外縁付鈕1式 4区袈裟禪文 高さ 30.5cm

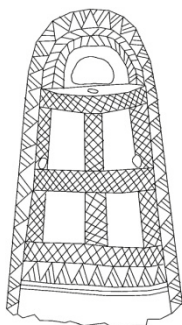


観察想像スケッチ

鈕部分は外縁から鋸歯文・綾杉文
緒部分は鋸歯文
下辺横帯 鋸歯文
下界線1条
本来は身の部分はよく見えない
想像復元です

☆兵庫県 南あわじ市市小井 松帆6号 南あわじ市教育委員会
外縁付鈕1式 4区袈裟禪文 高さ 32.2cm

観察想像スケッチ



鈕部分 外縁から鋸歯文・綾杉文

緒部分 鋸歯文

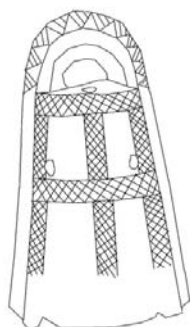
下界線 3条

下辺横帯 鋸歯文

外縁に複合鋸歯文もありそう

☆兵庫県 南あわじ市市小井 松帆7号 南あわじ市教育委員会
外縁付鈕1式 4区袈裟禪文 高さ 22.1cm

観察想像スケッチ

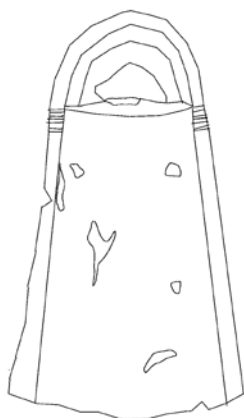


鈕部分の鋸歯文と第一横帯ぐらいしか
文様が見えない

ここまでの5鐸は、THE 4区袈裟禪文
複雑な遊び心は採り入れられていない

☆奈良県 奈良市秋篠町 秋篠3号 東京国立博物館蔵 東博806
外縁付鈕1式 4区袈裟禪文 高さ 22.2cm

観察想像スケッチ



この銅鐸も、ほぼ文様不明

唯一目に入るのは、一对耳飾耳痕

外縁付鈕1式で他にあるか？

秋篠1・2号が扁平鈕古段階の一对耳飾耳

扁平鈕じゃないかしらと見てみてもやはり鈕は外縁付鈕

外縁付鈕と扁平鈕の境目なのだろうか？